

寅さん歩 その 26

東京の主要道路の起点～終点

新大橋通り ー3



平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思い、2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元 大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」、「江戸通り」、「外堀通り」、「山手通り」、「環二通り」、「外苑東通り」、「外苑西通り」、「永代通り」、「中央通り」、「桜田通り」と歩いてきました。

今回は「新大橋通り」を歩いています。写真上右は新大橋通りの道路名標識（都道 50 号線）です。新大橋通りは中央区海岸通りの汐先橋交差点を起点に、新大橋を渡り、千葉県境 江戸川区江戸川の今井橋に至る延長約 13 km の道です。新大橋とは隅田川（大川）にかけられた橋名で、大橋と呼ばれた両国橋の次にかけられたので新大橋と名づけられました。今回は水天宮交差点から森下駅前交差点まで歩きました。

今回は森下駅前交差点から終点の今井橋まで歩きます。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

〔森下駅前交差点〕 江東区森下一丁目

最寄駅 都営地下鉄新宿線 森下駅

森下駅前交差点（写真右）で清澄通り（都道 463 号線）と交差します。左へ行くと両国方面、右へ行くと清澄方面です。新大橋通りは直進します。



[菊川駅前交差点] 墨田区菊川二丁目

最寄駅 都営地下鉄新宿線 菊川駅

菊川駅付近は墨田区が入り込んでいます。菊川駅前交差点で三ツ目通り（都道319号線）と交差します。三ツ目通りとは江東区辰巳交差点から墨田区言問橋交差点までの都道で、道路の通称は堅川にかかる三之橋（別名 三ツ目橋）に由来します。左へ行くと言問橋方面、右へ行くと辰巳方面です。



菊川駅前交差点（写真下左）の左角に史跡碑（写真下右）がありました。読むと「長谷川平蔵・遠山金四郎屋敷跡」と記載。鬼平こと、長谷川平蔵は1764年（明和元年）父の拝領屋敷替えで築地からこの地に移り、生涯を終えています。孫の代に屋敷替えで入居したのが遠山の金さんこと、遠山金四郎とのことです。



[菊川橋・大横川] 墨田区菊川三丁目

最寄駅 都営地下鉄新宿線 住吉駅

菊川橋西詰交差点の先に大横川にかかる「菊川橋」（写真下左）があります。

大横川は江戸時代に埋立地に造られた運河で、堅川と大川（現在の隅田川）間の10万坪と呼ばれた葦原を流れていたとのこと。



写真上右は橋から見た東京スカイツリー方面です。

写真左は橋から見た木場公園方面です。両岸は桜並木で春には見事な景色が見られます。寅次郎、来春のお花見を予定しています。

[住吉一丁目交差点] 江東区住吉一丁目

最寄駅 都営地下鉄新宿線 住吉駅

住吉一丁目交差点（写真下左）の左側は墨田区でした。その先左側の住吉銀座商店街（写真下右）は江東区になります。



[住吉二丁目交差点] 江東区住吉二丁目

最寄駅 都営地下鉄新宿線 住吉駅

住吉二丁目交差点（写真下右）で四ツ目通り（都道 465 号線）と交差します。左へ行くと錦糸町・押上方面、右へ行くと東陽方面です。四ツ目通りは墨田区京島交差点から江東区東陽町駅前交差点までです。



〔猿江恩賜公園〕 江東区毛利二丁目

最寄駅 都営地下鉄新宿線 住吉駅

1924 年（大正 13 年）にのちの昭和天皇のご成婚を記念して、現在の南側地区（現在 野球場あり）が明治政府より東京市へ下賜され、1932 年（昭和 7 年）に旧猿江恩賜公園として開園しました。北側地区（写真下左）は 1946 年（昭和 21 年）の計画決定から 38 年経過して 1983 年（昭和 58 年）に全園開園となりました。写真下右は南側地区に建てられた「江東公会堂（ティアラこうとう）」です。



写真下左は「猿江恩賜公園」の北側正面正門です。写真下右はミニ木蔵で、この一帯はかつて徳川幕府の猿江貯木場でした。明治政府に引き継がれ、皇室の貯木場（御木蔵）となりました。



〔本村橋〕 江東区毛利二丁目

最寄駅 都営地下鉄新宿線 住吉駅

「本村橋」(写真下左)は猿江恩賜公園の脇を流れる横十間川にかかる橋です。



横十間川は1659年(万治2年)に開削された運河で、江戸城に対して横に流れ川幅が十間(18m)あったことから名付けられました。別名の天神川は亀戸天神の横を流れることに由来するとのこと。写真下右は橋の上から東京スカイツリー一方面で、左が猿江恩賜公園です。

〔区民センター前交差点〕 江東区大島二丁目

最寄駅 都営地下鉄新宿線 西大島駅

区民センター前交差点(写真下右)で明治通り(都道306号線)と交差します。左へ行くと亀戸・東向島方面、右へ行くと新木場方面です。写真下右の右手が「江東区総合区民センター」で、区民の文化・教養・福祉の場としての施設です。地名の大島は“おおじま”と濁ります。東京都には伊豆大島に大島町がありますので、呼び方を変えているのだと思いました。



[大島六丁目交差点] 江東区大島六丁目

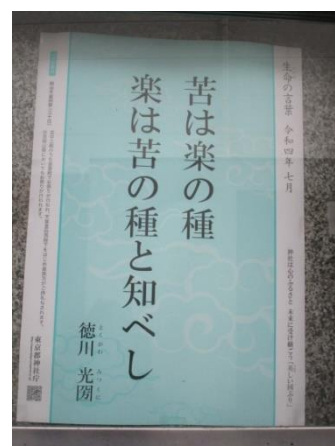
最寄駅 都営地下鉄新宿線 大島駅

大島六丁目交差点（写真下右）で丸八通り（都道 476 号線）と交差します。左へ行くと東向島方面、右へ行くと南砂方面です。丸八通りは墨田区立花から江東区南砂までの道で、小名木川にかかる丸八橋から名付けられました。明治時代に“丸八”というお線香屋さんがあり、その名からとの説もあります。



[東大島神社] 江東区大島七丁目

最寄駅 都営地下鉄新宿線 東大島駅



左側に朱色の社が見えたので立ち寄りました。「東大島神社」(写真上左)は東大島地区の鎮守です。戦災で焼失した5社が戦後合併して氏子たちにより建立されました。入口の掲示板には徳川光圀(水戸黄門様)の言葉(写真上右)がありました。

[大島八丁目交差点] 江東区大島八丁目

最寄駅 都営地下鉄新宿線 東大島駅

大島八丁目交差点(写真下右)で番所橋通り(都道477号線)と交差します。左へ行くと亀戸・京葉道路方面、右へ行くと東砂・葛西橋方面です。番所橋通りは右へ行くと番所橋があります。小名木川に中川船番所が置かれていました。中川船番所資料館は寅さん歩165 東京にこんなところー14 及び寅さん歩342 東京の博物館めぐりー29 江東区ー1をご覧ください。写真下右の右手は東大島駅です。



[東大島駅・船堀橋]



大島八丁目交差点の先は江東区と江戸川区の境になる旧中川で新大橋通りには「船堀橋」がかかっています。

右側を走る都営地下鉄新宿線の東大島駅は旧中川の上をまたいでいる珍しい駅（写真上左）です。都営地下鉄新宿線は東大島駅の手前から地上に出ています。写真上右は船堀橋から見た小松川方面の風景です。旧中川は江戸川区平井で荒川から分水し江戸川区小松川で再び荒川に合流する川です。

新大橋通りはさらに荒川・中川を渡ります。写真下左は並行して走る都営地下鉄新宿線の荒川にかかる鉄橋、写真下右は中川で左奥に見えるのが荒川です。



〔船堀橋東詰交差点〕 江戸川区船堀一丁目

最寄駅 都営地下鉄新宿線 船堀駅



船堀橋東詰交差点（写真上右）で船堀街道（都道 308 号線）と交差します。



交差点右には「船堀タワー」(写真上左)が見えています。その先を進むと右側に一之江境川親水公園、左側に「葛西工業高校」(写真上右)がありました。

[葛西工高前交差点]

江戸川区一之江七丁目

最寄駅 都営地下鉄新宿線 一之江駅

葛西工業高校先にある葛西工高前交差点(写真下右)で環七通り(都道 318 号線)と交差します。左へ行くと青戸方面、右へ行くと葛西方面です。



[新今井橋]

江戸川区一之江八丁目

最寄駅 都営地下鉄新宿線 一之江駅



新中川にかかるのが「新今井橋」(写真左)です。新中川は中川の洪水被害を防止するため葛飾区高砂から中川を分水(中川放水路)して中川と江戸川の間を南下し、江戸川区江戸川で東から来た旧江戸川と合流する川です。

FWAのHP表紙にある[JVA](#)からリンクできる日本市民スポーツ連盟のHP平野寅次郎のYR散歩 No38 及び No40 に新中川が掲載されています。写真下左は橋の上から見た小松川方面です。屋形船が係留されています。写真下右は反対側にある今井水門で、その先で新中川は旧江戸川と合流します。



【今井橋下の交差点】 江戸川区江戸川四丁目

最寄駅 バス利用で都営地下鉄新宿線 一之江駅

今井橋下の交差点（写真下右）で篠崎街道（都道 450 号線）と交差します。左へ行くと小岩方面、右へ行くと浦安橋方面です。



【今井橋】 東京都江戸川区：千葉県市川市

最寄駅 バス利用で都営地下鉄新宿線 一之江駅

旧江戸川にかかる「今井橋」で旧江戸川が東京都と千葉県の境です。写真下左は東京都江戸川区の風景、橋の中央には県境サイン（写真下右）がありました。サインには左 東京都、右 千葉県と表示されています。

これにて新大橋通りは起点から終点まで歩きました。隅田川から千葉県境までの川と橋を学んだウォークでもありました。



[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、現在はバーチャルウォーク 松尾芭蕉とあるく「奥の細道」に挑戦しています。全行程約 600 里（約 2400 km）の長旅なので最後までたどり着けるか心配ですが、目標があれば元気に生きられると強がっています。

2022 年 4 月 26 日、江戸深川（現在の江東区深川）を出発、2022 年 11 月 14 日新庄（現在の山形県新庄市）の手前 6 km（江戸深川から 965 km）に到着しました。

毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。

また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷して利用ください。

歩く際は密閉・密集・密接の密にならないよう、又それ以外の感染対策を怠らないようにお願いします！

平野 寅次郎 拝

